

6月の園だより

http://jyozan-k.com

R 4 . 5 . 2 5
幼保連携型認定こども園
城山幼稚園



今年こそはできると期待していた「お見知り会」。子どもたちはもちろん、是非保護者のみなさまに楽しんで親睦を深めていただこうと、担当が気合を入れて計画していただけに大変残念でした。新型コロナウイルスの取り扱いも少しずつ緩和されているようです。これからもっと、子ども同士の関わり同様、保護者の方同士関われる機会も取り戻していけたらと願っています。さて、ゴールデンウィークが明けましたが、お子様の生活のリズムは整っていますか。睡眠を柱とする日々の生活リズムを整えることが、子どもたちの発達の基盤です。一緒に頑張っていきましょう。

◆6月の予定◆

日	曜	行事及び締切など
1	水	
2	木	
3	金	プール準備
4	土	土曜預かり保育
5	日	
6	月	
7	火	
8	水	
9	木	プール開き 水難訓練
10	金	
11	土	土曜預かり保育
12	日	
13	月	
14	火	ソーシャルワーカー来園
15	水	リズム お弁当デー 預かり保育等封筒配布
16	木	WEB保育参観(ちっち・ぐんぐん) 預かり保育等納入期間(~6/20)
17	金	WEB保育参観(にこにこ)
18	土	土曜預かり保育
19	日	父の日
20	月	
21	火	WEB保育参観(345 赤・青チーム)
22	水	WEB保育参観(345 黄・緑チーム)
23	木	
24	金	体験保育
25	土	土曜預かり保育
26	日	
27	月	保育料納入日
28	火	田植え体験(ゆり)
29	水	
30	木	

※平日の預かり保育は、利用週の前週の金曜日が提出期限です。

※土曜日の預かり保育は、利用週の木曜日が提出期限です。

プール開きについて

○6月9日(木)に安全を祈願して神事を受けます。全園児を代表して、年長児が参加する予定です。
○天気の良い日はプール遊びをしますので、水着、水泳帽、タオルの準備をお願いします。持ち物には必ず記名の上、毎日持たせて下さい。
○水に慣れるために、いろいろな水遊びをしていきます。水への恐怖心を作らないように、楽しんで水遊びを進めていく予定です。水が苦手なお子様は、ご家庭でも少しずつ顔を水につけることに慣れさせて頂ければ幸いです。
今年度も、安全にプール遊びができるように、健康管理カードを用意します。6月10日(金)から、**毎日必ず持たせてください。**
健康管理カードには必要事項の記入、押印(サイン可)をお願いいたします。
尚、**記入のない場合や忘れた場合は、プール遊びや水遊び等ではできませんのでご注意ください。**

屋外でのマスク着用について

これから暑さが増し、熱中症が心配される季節に入ります。先日政府が「屋外でのマスク着用不要」の旨発表したことを受け、子ども・職員の健康上の理由を最優先し、屋外では適宜マスクを外していきたいと思っております。
ご理解とご協力のほどよろしくお願い致します。

お知らせとお願い

OWEB保育参観について

「年間予定一覧」でお知らせしております通り、6月にWEBでの保育参観を行います。詳細については、別紙をご覧ください。

〇ファミリーデー制作について

毎年、「母の日」「父の日」の時期に、ファミリーデーと題し、各ステージごとに制作活動を行います。それぞれの発達に合わせた内容、主に手先を使った制作に取り組みます。でき次第持ち帰りますので、お楽しみに♪

〇一日先生について

お配りしております年間予定一覧にある「一日先生」、毎月一度保護者のみなさまに、保育の仕事を体験していただく日を設けています。お子様や園の様子を客観的に見ていただき、一緒に保育に携わって頂くことで、お子さまへの理解、園の保育に関する理解が深まればという目的で行っています。本来であれば、毎月園だよりでお知らせして希望者を募っているのですが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、現在休止中です。再開する際にまたご案内いたします。

「見守る保育」藤森メソッドとは☆☆☆

当園は、「見守る保育」実践園です。と言っても何も特別なことをしているわけではありません。乳幼児期に必要な発達を促すため、教育保育要領に記してある「幼児期までに育てて欲しい10の姿」を引き出せるよう実践しようとする、自然とこの保育の形にたどりつきました。(子ども主体の保育)

【大事にしているポイント】

- 子どもがやろうとすることを信じる。(子どもの発達を見極め守る)
- 子ども自身ができることは自分でやる、できないことは人に頼める環境を作る
- 子ども同士の関わり(子ども集団だからこそ我慢すること、協力すること、「こうすればいいんだ!」という学びを得る)
- そもそも4月生まれと3月生まれは、発達に約1年の差がある。学年で区別するのには無理がある。発達に応じた環境、集団を作りそこで力を伸ばしていく(縦割りでない異年齢保育)
- 情緒や運動、言葉等の発達に応じ、文字数の概念も含め興味関心が持てるような環境設定(幼児期にこのような環境でしっかり遊ぶという経験が学校で知識を得る土台になる)

こんなことを大事に、子どもたちの姿からさらに学びを重ねながら日々保育を楽しんでいます。保護者のみなさまともそんな考え方を共有できればと思っています。1Fスタッフルーム横に、子どもがどのような環境で学びを得ているのか表にしています。是非ご覧ください♪

